

SCHEDULE

展覧会スケジュール

企画展

2023年4月15日（土）－6月25日（日）

末盛千枝子と舟越家の人々 ―絵本が生まれるとき―

彫刻家・舟越保武の長女に生まれ、美智子さまの講演録の編集者としても知られる末盛千枝子。「絵本は子どもだけのためのものではない」との思いのもと生み出された美しい絵本の世界、彼女を育んだ舟越家の人々の作品を一堂に展観、その仕事と人生の全容に光を当てる。

2023年7月15日（土）－9月24日（日）

市原湖畔美術館開館10周年記念「湖の秘密」展

養老川と高滝湖をめぐる地域の地勢、民俗を掘り下げ、絵画、写真、映像、彫刻、さまざまなメディアのアーティストたちが美術館内外の空間に作品を展開する。

〈参加アーティスト〉

大岩オスカル、岩崎貴宏、南条嘉毅、松隈健太郎、尾崎悟、椋本真理子、菊地良太、加藤清市

2023年10月14日（土）－2024年1月14日（日）

青木野枝 展

鉄という素材に魅了され、その可能性を空間との関わりのなかで追求してきた彫刻家・青木野枝（1958－）。素材本来の硬質感、重量感から解放され、空間の変容を試みてきた作家が、当館を舞台にインスタレーションを展開する。

2024年2月3日（土）－3月3日（日）

第11回市原湖畔美術館子ども絵画展

市原市在住の小学生、未就学児から公募した、想像力豊かな、個性あふれる子どもたちの絵を、アーティストのディレクションのもとに展示する。

*メンテナンス休館：4/3～4/5、6/26～6/30、9/25～9/29、1/15～1/19

常設展

2023年4月6日（木）－6月25日（日）

深沢幸雄と見るダンテの世界

ダンテ『神曲』〈地獄編〉シリーズ作品九点と初期作品、あわせて約二十点を展示。

2023年7月1日（土）－9月24日（月・祝）

深沢幸雄とメキシコ《衝撃の出会い編》

1962年に初めてメキシコへ渡った深沢が受けた衝撃は大きく、初期のモノクロームで繊細な作品から、鮮やかな色彩で抽象図形を用いた作品へと移行していく。初期作品数点と、メキシコ来訪後～1972年頃までの作品約二十点を展示。

2023年9月30日（土）－2024年1月14日（日）

深沢幸雄とメキシコ《思いを馳せる叙事詩編》

1974年、個展開催のためにメキシコを再訪した深沢は、意欲的に遺跡を巡った。そこからさらに作風が変化し、作品テーマにはスペインによるメキシコ侵略を表す『影』が多くあらわれるようになる。1973年頃～1980年頃までの作品約二十点を展示。

2024年1月20日（土）－3月31日（日）

深沢幸雄の人間劇場

1980年代に入ると、作風はまたも変化し、1990年代に入ると、今まで開発してきた様々な技法を駆使し、作品に落とし込んでいる。人間を主題としたこの年代の作品群は、作家の集大成ともいえる。1980年代～2000年代の作品約二十点を展示。

*メンテナンス休館：4/3～4/5、6/26～6/30、9/25～9/29、1/15～1/19
美術館や展覧会に関する情報は、美術館 HP や SNS でご覧ください。



市原湖畔美術館ホームページ